



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 43 No. 3
June 2018**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース

Contents

日本毒性学会からのお知らせ

2018年度年会費の納入のお願い	27
第21回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	31
日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書	33
認定試験受験資格のための評点表	35
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ(第4報)	37
第21回日本毒性学会基礎教育講習会日程	41
第45回日本毒性学会学術年会のご案内(第6報)	42
第40回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内	45
第45回日本毒性学会学術年会と第40回日本中毒学会学術集会の同時開催について	46
社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠(委任状)回答システムへのご登録のお願い	47
トキシコロジー第3版(朝倉書店)の刊行について	48

その他のお知らせ

フォーラム2018:衛生薬学・環境トキシコロジー	49
--------------------------------	----

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

2018 年度年会費の納入のお願い

日本毒性学会定款第 11 条（会費）に基づき、2018 年度の会費の納入を受け付けております。会費は日本毒性学会の運営・活動の原資となりますので、年会費の納入をお願いいたします。

本年 3 月に一斉メールでお知らせいたしましたとおり、評議員および一般・学生会員の更新会費についてクレジットカードによる会費収納を開始いたしました。

評議員および一般・学生会員は会員専用マイページにログインし、所定の手続きを行なうことによって年会費のクレジットカード決済が可能となります。

2017 年度以前の未払いの年会費についても、同様の手続きでクレジットカード決済が可能です。

ログイン URL : <https://area31.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lftes8mjct9/g7DahB/login.html>

操作詳細は次ページをご参照ください。

なお、従来どおり郵便振込による会費納入も可能です。

振込先口座情報は、マイページのクレジットカード決済画面にてご案内いたしておりますので、そちらをご参照ください。

5 月末日までにクレジットカードか郵便振込による会費納入が確認できなかった場合、該当の会員宛に郵便振込用紙を郵送します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本毒性学会
 理事長 永沼 章
 総務委員長 務台 衛

マイページからのクレジット決済方法

マイページにログインし、「会費納入状況」をクリックします。

The screenshot shows the 'マイページ' (My Page) interface. At the top, there are navigation links: Home, お知らせ (Notice), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), and パスワード変更 (Change Password). A 'ログアウト' (Logout) button is in the top right. Below the navigation is a 'メニュー' (Menu) section with a table showing member details: 会員番号 (Member No.) 99999 and 氏名 (Name) 山田 太郎 (Yamada Taro). To the right, there is introductory text and four main buttons: お知らせ (Notice), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), and パスワード変更 (Change Password). A green callout box points to the '会費納入状況' button with the text: 「会費納入状況」をクリックします。 (Click on 'Membership Fee Payment Status').

「会費納入状況」画面が開きます。

The screenshot shows the '会費納入状況' (Membership Fee Payment Status) page. At the top, there are navigation links: Home, お知らせ (Notice), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), and パスワード変更 (Change Password). A 'ログアウト' (Logout) button is in the top right. Below the navigation is the '会費納入状況' (Membership Fee Payment Status) section. It contains a table with the following data:

会費未納額合計	¥ 7000			
前受金合計	¥ 0			
入会金請求額	-	入会金入金額	-	
2017年度会費請求額	¥ 7000	2017年度入金額	¥ 0	請求書
2016年度会費請求額	¥ 7000	2016年度入金額	¥ 7000	領収書
2015年度会費請求額	¥ 7000	2015年度入金額	¥ 7000	領収書
2014年度会費請求額	¥ 7000	2014年度入金額	¥ 7000	領収書
2013年度会費請求額	¥ 7000	2013年度入金額	¥ 7000	領収書

Below the table, there is a note: ※本システムで表示できるのは、直近5年分の納入状況のみです。 (Only the payment status for the last 5 years can be displayed in this system.) and another note: ※会費のお振込みから納入状況の反映までは、10日程度お時間をいただく場合があります。 (It may take about 10 days for the payment status to be reflected after the payment is made.)

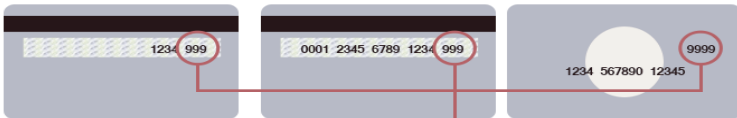
At the bottom, there is a section titled 「会費のお支払いについて」 (About Payment of Membership Fees) with the following text: クレジット決済の場合、下記のボタンをクリックしてください。 (In the case of credit payment, click the button below.) Below this text is a button labeled 'クレジット決済へ' (To Credit Payment). A green callout box points to this button with the text: 会費の未納分をクレジット決済する場合は、こちらをクリックしてください (If you want to pay the unpaid membership fee by credit, click here).

クレジット決済会社の決済用ページが開きます。
 カード番号等を入力し、「お申込み内容確認」ボタンをクリックします。

クレジットカード決済お申し込み
 サイト名 一般社団法人日本毒性学会

お申し込みになる場合は、以下の項目をすべてご入力いただき「お申し込み内容確認」ボタンを押してください。

ご利用内容	
ご利用金額	¥7,000
ご利用代金の請求名	一般社団法人日本毒性学会

クレジットカード決済申し込みフォーム	
電話番号	<input type="text"/> (例) 0001234567 【半角】 【ハイフンなし】
メールアドレス	<input type="text"/> (例) zeus@example.jp 【半角】
カード名義	<input type="text"/> (例) TARO YAMADA 【半角】 <small>カード上の名前と申込者名が一致しない場合、クレジットカード使用停止などの処分が課せられる場合があります。</small>
カード番号	<input type="text"/> (例) 1234567891234567 【半角】 【ハイフンなし】
カード有効期限	<input type="text"/> 月 / <input type="text"/> 20 <input type="text"/> 年 (例) 12 月 / 2010 年
セキュリティコード	<input type="text"/> (例) 999 【半角】 セキュリティコードとは？ クレジットカードの裏面に記載されている3桁または、表面に記載されている4桁の番号です。  <p style="text-align: center;">セキュリティコード</p>

※下記「個人情報の取扱いについて」にご同意いただける場合は、「お申し込み内容確認」を押してください。

内容ご確認後、「お申し込み」ボタンをクリックします。

クレジットカード決済お申し込み
 サイト名 一般社団法人日本毒性学会

ご利用内容	
ご利用金額	¥7,000
ご利用代金の請求名	一般社団法人日本毒性学会

クレジットカード決済申し込みフォーム	
電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
カード名義	<input type="text"/>
カード番号	<input type="text"/>
カード有効期限	<input type="text"/> 月 / <input type="text"/> 年
セキュリティコード	<input type="text"/>

※「お申し込み」ボタンを1度だけ押してください。10秒前後でページが更新されます。

決済が完了いたします。また、入力したメールアドレスに決済完了メールが届きます。

クレジットカード決済お申し込み
サイト名 一般社団法人日本毒性学会

決済が完了しました。
ご利用ありがとうございました。

[トップページへ](#)

第21回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験

日本毒性学会

教育委員会委員長

広瀬 明彦

認定試験小委員会委員長

古川 賢

下記の要領で認定試験を実施いたします。

受験希望者は毒性学ニュースまたは学会ホームページに掲載の「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」を熟読の上、出願して下さい。

出願時に提出された書類に基づく書類審査で上記規程に記載されている一定の基準に達しない場合は、認定試験を受けることができませんので出願に際してはこの点に十分に気をつけて下さい。

書類審査で受験資格が認められた場合、試験日の10日前までに受験票をご本人宛送付いたします。試験当日は必ず受験票を持参して下さい。

昨年より、英語受験が可能です。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

また本年より、試験の開始・終了時間が30分遅くなりますので、ご注意ください。

1. 日 時

2018年10月14日(日) (9:45～17:00 予定)

※変更になりました。

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス
4号館6階600号教室 (予定)
(東京都品川区旗の台1-5-8)

*東急池上線・大井町線

旗の台駅東口下車 徒歩5分

3. 出願期間

2018年7月2日(月)～8月17日(金) (必着)

4. 出願書類

1) 願書と受験者確認票

2) 写真 2枚 (縦3.5cm × 横3cm)

※6ヶ月以内のもの

(願書と受験者確認票の所定欄に貼付)

3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料
出願時には次のことにご注意下さい。

・会員歴：出願時にJSOTの会員であること

・研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。

出願書類は記録の残るもの(書留、信書便等)でお送り下さい。

5. 受験料

30,000円 (下記の郵便振替口座にお振込の上、
払込票のコピーを出願書類に同封下さい)

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

※領収書につきましては、振込時の振替払込請求書兼受領証にかえさせていただきます。

(通信欄に会員番号を明記下さい)

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

認定試験小委員会

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

第21回日本毒性学会 認定トキシコロジスト認定試験受験者確認票

写真貼付欄
(6ヶ月以内のもの)

受験番号

氏 名

(氏名をご記入下さい)

日本語受験、英語受験 (希望する方に✓を入れてください)

Application Form Guidance Notes about the 21th Certification Examination for Diplomate of the JSOT

The Japanese Society of Toxicology (JSOT)
 Chair of Education Committee: **Akihiko Hirose**
 Chair of Certification Examination Subcommittee: **Satoshi Furukawa**

We would like to inform you that the 21th certification examination for diplomate of the JSOT will be conducted in the following manner:

Applicants are requested to submit application documents after careful reading of "Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)" presented in Toxicology News or on the homepage of the society.

If you do not reach the prescribed level in the above regulations at the screening of application documents, you cannot take the certification examination. Therefore, please take a great care for applying.

When you are qualified for the certification examination, we will send you an admission ticket no later than 10 days prior to the examination. You must bring the admission ticket to the examination.

Taking the certification examination in English became available from this time. If you want to do so, please check the box of requesting the examination in English in the application form.

1. Date of the examination

October 14, 2018 (Sunday), 9 : 45 to 17 : 00

2. Place of the examination

Hatanodai Campus of Showa University
 (1-5-8 Hatanodai, Shinagawa-ku, Tokyo)

* Take Tokyu Ikegami Line or Oimachi Line

Get off at East Exit of Hatanodai Station and walk for 5 minutes.

3. Application period

Open from July 2 (Monday), no later than August 17 (Friday), 2018

4. Application documents

- 1) Application form and examinee's identification form
- 2) 2 face photos (3.5 cm height × 3 cm width)

(To be pasted to the appropriate spaces of the application form and examinee's identification form.)

- 3) Score table of eligibility for admission to certification examination and data to prove confidence of self-rated scores

Please make sure the following when you apply for the examination:

- Member history: applicants must be JSOT members at the time of application
- Research history

Please look at "Regulations on the Certification Detailed information is provided in the Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)". You are expected to send application documents by a method that keeps a historical record (registered mail, confidential correspondence delivery, etc.).

5. Examination fee

¥30,000

Please pay money into the following postal transfer account and enclose a copy of the Payment Slip with the application documents:

Postal Transfer Account No. : 00150-9-426831

Subscriber's name: The Japanese Society of Toxicology

* Transfer Payment Invoice and Receipt will be used as a receipt of the examination fee.

(Please write Membership No. in the message column of the Payment Slip.)

6. Address for application submission

Certification Examination Subcommittee
 Bureau of The Japanese Society of Toxicology
 in Mainichi Academic Forum Inc.

Palace Side Building, 1-1-1, Hitotsubashi, Chiyoda-ku,
 Tokyo 100-0003, Japan

Phone: +81-3-6267-4550 Fax: +81-3-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

----- Cutoff line -----

Examinee's Identification Form for the 21th Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Please paste your
 recent face photo
 within 6 months

Examinee' No. _____

Name _____

日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書

年 月 日提出

ふりがな
氏名： _____

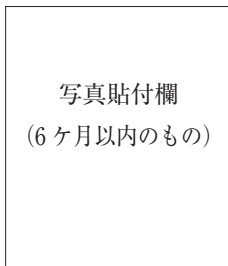
会員番号： _____

生年月日： 西暦 年 月 日 (歳)

所属機関： _____

職名： _____

学歴： _____



- 高等学校卒業
 短期大学等卒業
 4年制大学等卒業
 6年制大学等卒業
 (該当する□にチェック)

卒 業 年	学 校 名 お よ び 学 部 学 科 等
西 暦 年 月	
西 暦 年 月	
西 暦 年 月	
卒業後 年 カ月	注：大学院を含まない

毒性学関連の職歴および大学院等における毒性学関連の研究期間：

期 間 (西 暦)	年 数	職 歴 , 大 学 院 等
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
年 月 ~ 年 月	年 カ月	
通算 年 カ月	注：修学期間, 就業期間および研究実績期間の重複は多重に計上しない	

- *受験する言語の選択： 日本語版 英語版
- *受験票送付先： 所属機関 自宅

〒 _____

住 所： _____

電話： _____ FAX： _____ E-mail： _____
 (お持ちの方は必ずご記入下さい)

*緊急連絡先：

Application Form for Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Date submitted: / / (MMM/DD/YYYY)

Name: _____

Membership No. : _____

Date of birth: / / (MMM/DD/YYYY) (years old)

Affiliated institution: _____

Job title: _____

Education: (Graduated from the following:)

High school Junior college 4-Year university 6-Year university

(Please check the appropriate box.)

Please paste your
recent face photo
within 6 months.

Year of graduation	Names of the school, faculty, department, etc.
/ (MMM/YYYY)	
/ (MMM/YYYY)	
/ (MMM/YYYY)	
year(s) and month(s) after graduation	Note: Please do not include graduate school

Toxicology-related work experiences and research periods at graduate schools, etc.:

Period	Duration	Work experience, graduate schools, etc.
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
Total: year(s) and month(s)	Note: Please avoid overlap among each period.	

* Do you want to take the examination in English or Japanese? English Japanese

* Preferred address to send the examination authorization slip: Affiliated institution Home

Zip code:

Address:

Phone:

Fax:

E-mail:

* Emergency contact details:

認定試験受験資格のための評点表

「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」の付表（脚注に注意）を参考に自己採点の上，下表（評点表）の該当箇所に評点を記入して下さい。

なお，下表中の論文についてはそのコピーを，学会等参加については参加証のコピーを，学会等発表については学会開催年を付記した講演要旨のコピーを，また，講習会については参加証のコピーを，それぞれ証明資料として添付して下さい。

（評点表にも忘れずに氏名と所属機関をご記入下さい）

氏 名：

所属機関：

種 別	評 点 項 目	評 点
論 文	毒性学関連論文 ^{1),2)}	
学会活動	発表 ¹⁾	
	JSOT 学術年会	
	参加	
	発表 ¹⁾	
講習会等	毒性学に関連する学会 ³⁾ の学術年会	
	参加	
講習会等	基礎教育講習会	
	JSOT 主催・公認講習会 ⁴⁾	
合 計		

1) 筆頭著者もしくは責任著者（corresponding author）については10点，それ以外の共同発表の場合は5点とする。

2) レフリー制度が整っている学術誌に限る。

3) IUTOX 定期総会（ICT），ASIATOX 定期総会，SOT 年会，EUROTOX 年会，日本安全性薬理研究会，日本衛生学会，日本環境変異原学会，日本産業衛生学会，日本獣医学会，日本実験動物学会，日本製薬医学会，日本先天異常学会，日本中毒学会，日本毒性病理学会，日本内分泌攪乱化学物質学会，日本免疫毒性学会，日本薬学会，日本薬物動態学会，日本薬理学会

4) JSOT 生涯教育講習会等

Score Sheet of Eligibility for Admission to the Certification Examination

Please make sure that your total score is over 80, using following score sheet. Please refer to the appendix of “Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)”, which is also described in the footnotes.

Please attach evidence of each category score: articles; photocopies of certificates for attendance to academic conferences, educational lecture, etc.; and photocopies of abstract for presentations (please add holding years of the conferences).

Please do not forget to write your name and affiliated institute below in this sheet.

Name:

Affiliated institute:

Category	Scoring item	Score
Article	Toxicology-related articles ^{1), 2)}	
Academic activity	JSOT annual meeting	Presentation ¹⁾
		Participation
	Annual meeting of toxicology-related academic society ³⁾	Presentation ¹⁾
		Participation
Educational lecture, etc.	JSOT fundamental education course	
	Lecture, etc. sponsored or authorized by JSOT ⁴⁾	
Total		

1) Ten points awarded for the first author or corresponding author, and 5 points for authors of joint publications.

2) Journals should be limited to those having a peer-review system.

3) IUTOX International Congress of Toxicology (ICT), ASIATOX regular general meeting, SOT annual meeting, EUROTOX annual meeting, Congresses of Japanese Safety Pharmacology Society, The Japanese Society for Hygiene, The Japanese Environmental Mutagen Society, Japan Society for Occupational Health, The Japanese Society of Veterinary Science, Japanese Association for Laboratory Animal Science, The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine, The Japanese Teratology Society, Japanese Society for Clinical Toxicology, Japanese Society of Toxicologic Pathology, Japan Society of Endocrine Disruptors Research, The Japanese Society of Immunotoxicology, The Pharmaceutical Society of Japan, The Japanese Society for the Study of Xenobiotics, and The Japanese Pharmacological Society

4) JSOT continuing education course, etc.

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第4報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会として、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会を開催いたします。

〔第19回日本毒性学会生涯教育講習会〕

本講習会では、昨年より学習フレームを、①トピックス（SOT報告）、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としています。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応についてメカニズムから最新の話題を含め深く学習する場としています。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れています。

本年より講習会資料はダウンロード形式といたします。受講者の皆様には6月下旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日時

2018年7月17日（火）

2. 会場

大阪府立国際会議場（グランキューブ）
10階 1003

3. プログラム

1) SOT2018 報告：Continuing Education Course
の話題をもとに

1-1 An Introduction to the Basics of Immunotoxicity
Testing

10:30～11:15

一ツ町 裕子 先生（大鵬薬品工業）

1-2 NGS Based Technologies Enable Biomarker
Development and Discovery in Toxicology

11:15～12:00

熊本 隆之 先生（奥羽大学薬学部）

（昼休憩 12:00～12:50）

2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー：
“肺・呼吸器の毒性変化を考える”

2-1 「非病理学者のための病理学講義 –呼吸器の
構造と毒性変化–」

12:50～13:50

篠塚 淳子 先生（中外製薬・研究本部）

2-2 「アスベストと中皮腫（仮）」

13:50～14:40

西村 泰光 先生（川崎医大・衛生学）

（休 憩 14:40～14:50）

2-3 「ナノマテリアルの毒性：肺毒性を中心として」

14:50～15:40

高橋 祐次 先生（NIHS）

2-4 「薬剤性肺障害」

15:40～16:30

服部 登 先生（広島大学大学院 分子内科学）

4. 参加申込および参加費

事前申込期間は終了いたしました。当日参加申込の場合は、当日の受付にてお申込下さい。

当日申込参加費

会 員	7,000 円
非会員	10,000 円
認定トキシコロジスト	5,000 円

5. 問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル

(株) 毎日学術フォーラム内
 TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555
 E-mail: jsotq@jsot.jp

郵便振替口座番号：00150-9-426831
 加入者名：一般社団法人日本毒性学会

「第21回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。集中講義によってトキシコロジー全般にわたる理解を深めたいと、10月に開催されます第21回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。3日間をかけて18名の先生方に講義していただきます(41ページ参照)。

尚、本講習会を受講されますと認定試験受験資格のための評点40点が付与されます。また、認定トキシコロジスト資格更新の際の評点獲得の対象にもなります。

受講を希望される方は、下記の受講申込方法でお申込み下さい。受講料入金の確認後、追って受講案内及び資料をお送りします(7月下旬頃)。

1. 日時

2018年8月6日(月)～8日(水)

2. 会場

星薬科大学 新館 202/203

3. 募集人数

150名(先着順)

4. テキスト

トキシコロジー(第3版)(朝倉書店, 2018年3月刊)の内容を中心に講義を行う予定です。

5. 申込期間

1) 申込期間

2018年5月7日(月)～7月6日(金)

2) 申込方法

日本毒性学会ホームページよりお申込み下さい。登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

3) 納入方法

郵便局に備え付けの振替用紙に受講者氏名、会員番号(会員の方のみ)、所属、をご記入の上、下記振替口座へお振込み下さい。

ネットバンキングをご利用の方は事務局までメールで受講者氏名、会員番号(会員の方のみ)、所属、振込日、振込金額をご連絡の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：ゆうちょ銀行

支店：〇一九(ゼロイチキュウ)支店

口座番号：当座0426831

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

4) 受講料

一般会員 25,000円

学生会員 5,000円

非会員 30,000円

学生非会員 8,000円

認定トキシコロジスト 20,000円(2～3日受講)

10,000円(1日受講)

*交流会(1日目開催)の費用は受講料に含まれます。

*受講料はお申込みから5日以内にお振込み下さい。

*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名(会員の方は会員番号)、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

*領収書は、振込時の振替払込請求書兼受領証に代えさせていただきます。学会からの領収書が必要な場合は当日振替払込請求書兼受領証と交換いたします。

*会場に余裕がある場合に限り当日参加を受け付けますが、できるだけ事前申込をお願いします。

*キャンセルに伴う返金に関しては、講習会資料事前送付前に限り、対応します。事務局から資料発送後は納入済み受講料の返金は原則として致しませんのでご了承下さい。

5) その他

昼食は各自ご用意下さい。講義室内での飲食は可能です。

6. その他

受講修了者には受講証明書を発行します。また、学生受講者(大学院生を含む)は出欠を確認したうえで受講認定証を発行いたします。

「第21回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。

昨年より、英語受験が可能です。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

また本年より、試験の開始・終了時間が30分遅くなりますので、ご注意ください。

1. 日 時

2018年10月14日(日)

※変更になりました

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス 4号館 6階 600号教室

3. 出願期間

2018年7月2日(月)～8月17日(金)(必着)

4. 出願書類

- 1) 願書と受験者確認票
- 2) 写真 2枚(縦3.5cm×横3cm)※6ヶ月以内
(願書と受験者確認票の所定欄に貼付)
- 3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料

出願時には次のことにご注意下さい。

- ・会員歴：出願時にJSOTの会員であること
- ・研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。出願書類は記録の残るもの(書留、信書便等)でお送り下さい。

出願書類フォームは、学会ホームページおよび本誌に掲載しております。(33～34ページ参照)。

5. 受験料

30,000円(下記の郵便振替口座にお振込の上、払込票のコピーを出願書類に同封下さい)

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

(通信欄に会員番号を明記下さい)

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

認定試験小委員会

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555

E-mail: jsothq@jsot.jp

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2003年、2008年、2013年に認定トキシコロジストに認定された方(認定トキシコロジストNo.7, 12, 100～148, 234～261, 398～415, 530～552)は2018年が資格更新の時期となります。更新手続きの詳細は、対象者宛に2018年7月頃に郵送いたしますのでご確認ください。また、すでにご連絡しておりますように、例年1～2月に認定トキシコロジスト試験問題の作成依頼につきましては、6月にお送り致します。可能な限り、3月発刊の「トキシコロジー(第3版)」からの出題をお願いいたします。毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「日本毒性学会認定トキシコロジスト総会」

7月に大阪府立国際会議場で開催予定の第45回日本毒性学会学術年会会期中に、認定トキシコロジストを対象とした認定トキシコロジスト総会を企画しております。総会には多くの先生方が参加されますので、今後の毒性学の方向性、研究等様々な意見交換の場として有効利用していただければと考えております。老若男女問わず認定トキシコロジストの先生方の積極的なご参加をお待ちしております。

1. 日 時

2018年7月18日(水)

18:30～20:30(18:00より受付開始)

2. 会 場

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

12階 レストラン「グラントック」

<http://www.gco.co.jp/>

3. 式次第

- 1) 認定トキシコロジスト総会
- 2) 新規名誉トキシコロジスト表彰式
- 3) 認定トキシコロジスト懇親会

4. 会費

認定トキシコロジスト:事前 3,000 円(当日 4,000 円)
名誉トキシコロジスト:事前 3,000 円(当日 4,000 円)
2018 年度新規名誉トキシコロジスト:無料
(該当の方には別途ご案内させていただきます)

参加者数により、当日入場を制限させていただく
ことがございます。事前申込にご協力よろしくお
願いいたします。

事前申込期間:2018 年 4 月 2 日(月)
~ 6 月 15 日(金)

5. 申込方法

参加希望の方は日本毒性学会事務局(jsothq@jsot.
jp)まで電子メールにてお申込み(お名前, 日本
毒性学会会員番号, 認定トキシコロジスト総会参
加旨記載)の上, 下記振込先までお振込みをお願
いいたします。

郵便局に備え付けの郵便振替用紙をご利用いただ
くか, インターネットバンキング等をご利用くだ
さい。

インターネットバンキングにてお振込みの際に
は, 振込人名義を会員番号, フルネーム(個人名),
"DJSOT ソウカイサンカヒ"と記載願います。

例:99999 ドクセイ タロウ DJSOT ソウカイサンカヒ

振込先

〈振替用紙・ゆうちょ銀行から〉

郵便振替口座:00150-9-426831

加入者名 : 一般社団法人日本毒性学会

〈他行から〉

銀行名 : ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

店番 : 019

預金種目 : 当座

店名 : 〇一九 店(ゼロイチキュー店)

口座番号 : 0426831

第21回日本毒性学会基礎教育講習会日程

月 日	#	時 間	学 科 目	講 師
8月6日 (月)		09:00 - 09:10	オリエンテーション	基礎講習会小委員会 委員長
	1-1 (1:30)	09:10 - 10:40	毒性学および毒性試験法の概念・ 実験動物	和久井 信 講師 (麻布大学 獣医学部)
	1-2 (1:30)	10:50 - 12:20	毒性発現機序	吉成 浩一 講師 (静岡県立大学 薬学部)
	1-3 (2:00)	13:20 - 15:20	動態・代謝	小澤 正吾 講師 (岩手医科大学 薬学部)
	1-4 (1:30)	15:30 - 17:00	血液毒性, 免疫毒性	中村 和市 講師 (北里大学 獣医学部)
			17:15 - 19:15	交流会
8月7日 (火)	2-1 (1:30)	09:00 - 10:30	消化器毒性, 肝毒性	中野 (伊藤) 今日子 講師 (エーザイ 安全性研究部)
	2-2 (1:00)	10:40 - 11:40	腎・泌尿器毒性	村上 雄一 講師 (田辺三菱製薬 安全性研究所)
	2-3 (1:00)	11:50 - 12:50	呼吸器毒性	梅田 ゆみ 講師 (日本バイオアッセイ研究センター 病理検査部)
	2-4 (1:00)	13:35 - 14:35	神経行動毒性, 運動器毒性, 感覚器毒性	種村 健太郎 講師 (東北大学大学院 農学研究科)
	2-5 (1:00)	14:45 - 15:45	循環器毒性, 安全性薬理	田保 充康 講師 (中外製薬 研究本部 安全性研究部)
	2-6 (1:00)	15:55 - 16:55	皮膚・粘膜毒性, 光毒性, 代替試験法	小島 肇夫 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部)
	2-7 (1:00)	17:05 - 18:05	生殖発生毒性, 生殖器毒性, 内分泌毒性	古川 賢 講師 (日産化学工業 生物科学研究所)
8月8日 (水)	3-1 (1:00)	09:00 - 10:00	遺伝毒性	本間 正充 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部)
	3-2 (1:00)	10:10 - 11:10	発がん性	鰐淵 英機 講師 (大阪市立大学大学院 医学研究科)
	3-3 (1:00)	11:20 - 12:20	環境毒性	石塚 真由美 講師 (北海道大学大学院 獣医学研究院)
	3-4 (1:00)	13:05 - 14:05	毒性オミクス	山田 弘 講師 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
	3-5 (1:00)	14:15 - 15:15	リスクアセスメント・ リスクマネージメント	小野 敦 講師 (岡山大学 医歯薬学総合研究科・薬学系)
	3-6 (0:40)	15:25 - 16:05	臨床中毒学	沼澤 聡 講師 (昭和大学 薬学部)
	3-7 (1:00)	16:15 - 17:15	統計学	渡邊 真弓 (第一三共 安全性研究所)
			17:20	受講証明書授与
資料のみ			化学物質の有害作用, 安全性評価・管理	斎藤 嘉朗 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部)

第 45 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 6 報)

(年会ホームページ: <http://jsot2018.jp/>)

1. 会 期
2018 年 (平成 30 年) 7 月 18 日 (水) ~ 20 日 (金)
2. 会 場
大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)
〒 530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3-51
TEL: 06-4803-5585
URL: <http://www.gco.co.jp/>
3. テーマ
インタラクティブ
毒性研究とリアルワールドへの応用
4. 年会長
務台 衛 (田辺三菱製薬株式会社)
5. 企画委員 (敬称略・五十音順)
石塚真由美 (北海道大学)
小川久美子 (国立医薬品食品衛生研究所)
小野寺博志 (医薬品医療機器総合機構)
鍛冶 利幸 (東京理科大学)
菅野 純 (日本バイオアッセイ研究センター)
北嶋 聡 (国立医薬品食品衛生研究所)
熊谷 嘉人 (筑波大学)
黒川 洵子 (静岡県立大学)
佐藤 雅彦 (愛知学院大学)
渋谷 淳 (東京農工大学)
鈴木 睦 (協和発酵キリン株式会社)
高崎 涉 (第一三共株式会社)
田保 充康 (中外製薬株式会社)
苗代 一郎 (医薬品医療機器総合機構)
中村 和市 (北里大学)
橋爪 孝典 (大阪大谷大学)
姫野誠一郎 (徳島文理大学)
広瀬 明彦 (国立医薬品食品衛生研究所)
福井 英夫 (Axcelead 株式会社)
福島 民雄 (塩野義製薬株式会社)
福本真理子 (北里大学)
古川 賢 (日産化学工業株式会社)
堀井 郁夫 (ファイザー, 昭和大学)
堀本 政夫 (千葉科学大学)
本間 正充 (国立医薬品食品衛生研究所)
山田 久陽 (大正製薬株式会社)
横井 毅 (名古屋大学)
吉成 浩一 (静岡県立大学)
- 和久井 信 (麻布大学)
渡部 一人 (中外製薬株式会社)
6. 特別企画 (予定, 敬称略)
 - 1) 第 16 回市民公開セミナー
テーマ: 生活の中の科学: ベネフィットとリスクを正しく理解する
日 時: 2018 年 7 月 21 日 (土)
午前 10:30 ~ 12:30
場 所: Y M C A 国際文化センター
 - 2) 年会長招待講演
「ナノマテリアル特にカーボンナノチューブによる肺・胸膜中皮障害と発がん性の経気管肺内噴霧投与 (TIPS) 試験法の開発」
津田 洋幸
(名古屋市立大学)
 - 3) 特別講演
 - (1) “Nonclinical safety evaluation of T-cell based immunotherapies”
Timothy K. MacLachlan
(Novartis Institutes for BioMedical Research, USA)
 - (2) 「iPS 細胞を用いたヒューマン・オルガノイド技術の新展開」
谷口 英樹
(横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学)
 - (3) 「性ステロイドホルモンによる即時性反応を介した高次生理機能」
木村 郁夫
(東京農工大学大学院農学研究院 応用生命化学専攻)
 - (4) 「大腸がん発病に伴うヒト腸内環境のマルチオミクス解析」
山田 拓司
(東京工業大学 生命理工学院)
 - (5) 日本中毒学会合同企画: 記念講演
「急性中毒の標準治療はどうあるべきか」
杉田 学
(順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)
 - (6) “Translational safety biomarker strategy applications for innovative therapies”
John Burkhardt
(Drug Safety R&D, Pfizer, USA)

- (7) 「活性イオウ分子を基軸とする有害金属研究の新展開」
熊谷 嘉人
(筑波大学医学医療系 環境生物学分野)

4) 教育講演

- (1) 「製薬産業界のトランスフォーメーションとアカデミア創薬の展望」
樽林 陽一
(神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部)
- (2) “Safety review of generic drugs and the regulatory guidelines”
Saryu Goel
(Office of Generic Drugs, US Food & Drug Administration, USA)
- (3) 「ゼブラフィッシュ受精卵品質管理とサリドマイド発生毒性」
田中 利男
(三重大学大学院医学系研究科 システムズ薬理学)
「ガイドライン化を目指した in vitro 試験系導入の具体的な留意点」
小島 肇
(国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部)

5) シンポジウム (23 セッション)

- ・ in silico 研究への期待と問題点 (Big Data, AOP, Systems Toxicology から AI/Ontology へ)
- ・ 子どもへの低用量化学物質暴露が誘発する情動認知行動影響とその評価系の開発
- ・ トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム: 国際化への対応
- ・ リスクアセスメント過去・現在・未来 これまで30年の歩みとこれから10年の歩み
- ・ 日本中毒学会合同シンポジウム: コリン作動性の中枢・末梢神経毒性の基礎と臨床
- ・ 実用化に呼応したナノマテリアルの有害性評価の進捗
- ・ CDISC を活用した非臨床安全性評価
- ・ 化学物質と腸内細菌の新たな関係
- ・ エピジェネティック毒性研究の新展開
- 安全性評価に向けた分子・個体レベル研究を踏まえた総合討論 -
- ・ 酸化 / 親電子ストレスの制御を担う活性イオウ分子の功罪
- ・ 適応拡大する毒性オミクス
- ・ ヒト医薬品環境影響評価の新展開
- ・ 次世代研究セミナー: イメージングと毒性の融合
- ・ ヒト間葉系幹細胞の将来研究
- ・ 非低分子医薬品の安全性評価戦略について
- ・ 日本中毒学会合同シンポジウム: ドーピングの中毒学・毒性学

- ・ 精巣毒性の現状と展望
- ・ 創薬・代替法における in vitro 試験の新たな始動
- ・ SOT- JSOT Exchange Promotion Program -Systems Vaccinology for potency and safety- (米国毒性学会合同シンポジウム: -システム・ワクシノロジーによる有効性と安全性の考察-)
- ・ 日本薬理学会合同シンポジウム: 毒性発現と性差
- ・ 医薬品の生殖発生毒性試験についての ICH S5 ガイドライン改定
- ・ 日本毒性病理学会合同シンポジウム: 毒性病理学会からのトピック -レギュラトリーサイエンス- 動き始めた遺伝毒性評価の新たな潮流

6) ワークショップ (9 セッション)

- ・ 医療機器の生物学的安全性試験評価方法に関する話題提供
- ・ 非臨床安全性試験におけるマイクロサンプリングの課題と展望
- ・ 網膜・視神経毒性: 臨床中毒学と非臨床毒性学の融合
- ・ 再生医療製品等における安全性評価～造腫瘍性試験を中心として
- ・ 医薬品の心臓安全性評価に関する最新動向と将来展望
- ・ 腎毒性の評価手法の進展と課題
- ・ 感作性代替法の現状と展望
- ・ 非げっ歯類のゲノムと副作用予測への応用
- ・ IMS (Imaging Mass Spectrometry) の毒性評価への応用

7. 一般演題

- 1) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演の発表時間は8分、討論3分の11分です。発表方法はPCプレゼンテーション(プロジェクター1面映写)のみです。ポスター発表は、毎日貼替えてポスター展示を行い、途中で質疑応答時間(45分)を設けます。

◆ポスター発表 質疑・応答(コアタイム)

- 7月18日(水) 17:20~18:05
7月19日(木) 17:30~18:15
7月20日(金) 13:15~14:00

ポスターは縦180cm、横90cm以下のサイズで作成してください。
詳細は6月中旬頃年会ホームページに掲載します。

2) 優秀研究発表賞

応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表(4分)と質疑応答(1分)を第1日目(7月18日(水))に行っていただきます。発表デー

タ (PowerPoint) は、年会当日受付いたします。受賞者の発表は、第2日目 (7月19日 (木)) に行い、授賞式は、第3日目 (7月20日 (金)) 13:30より年会会場で行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

3) 学生ポスター発表賞

審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第1日目 (7月18日 (水)) に掲示し、受賞者の発表は、第2日目 (7月19日 (木)) に行います。授賞式は、同日の懇親会場で行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

8. 当日参加登録

当日参加の受付は、大阪国際会議場 10F ホワイエの当日受付デスクで行ってください。

参加費 (当日受付)

※ 学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税 (消費税込)」となります。

会 員	13,000 円
学生会員	4,000 円
* 関連学会会員	14,000 円
非 会 員	16,000 円
<hr/>	
懇親会 (一般)	11,000 円
懇親会 (学生)	5,000 円

* は次の学会会員の方です。(50音順)

共催：日本中毒学会
日本毒性病理学会
日本免疫毒性学会
日本薬理学会
米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛：日本安全性薬理研究会
日本医薬品情報学会
日本衛生学会
日本環境変異原学会
日本産業衛生学会
日本実験動物学会
日本獣医学会
日本先天異常学会
日本動物実験代替法学会
環境ホルモン学会 (日本内分泌攪乱化学物質学会)
日本薬学会
日本薬物動態学会
比較眼科学会

9. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2018年7月19日 (木) 18:30より

会場：リーガロイヤルホテル大阪 3F

「光琳 (Korin)」

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-68

TEL：06-6448-1121

URL：<https://www.rihga.co.jp/osaka>

10. 年会事務局

〒335-8505 埼玉県戸田市川岸2-2-50

田辺三菱製薬株式会社 創薬本部安全性研究所

事務局長：大山 直樹

事務局次長：久米 英介

TEL：048-433-2770 FAX：048-433-8790

E-mail：secretariat@jsot2018.jp

11. 同時期開催

第40回日本中毒学会総会・学術集会

2018年7月20日 (金)～7月21日 (土)

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

第45回日本毒性学会学術年会の参加証で聴講できます。

第40回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内

会 期 2018年7月20日(金)～21日(土)

会 場 グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場,
大阪市北区中之島5丁目3-51)

会 長 嶋津 岳士(大阪大学医学部附属病院 高度
救命救急センター)

副会長 遠藤 容子(公益財団法人日本中毒情報セン
ター 大阪中毒110番)

web サイト <http://www2.convention.co.jp/40jsct/>

テーマ Toxicology for all -中毒を考えよう-

学会企画(予定)

- ・ 招聘講演
Dr. Daniel E Brooks MD
(Department of Medical Toxicology, Banner
University Medical Center, Phoenix)
「Medical Toxicology as a Subspecialty in Japan(仮題)」
- ・ 特別企画1
「40回を記念して(仮題)」
- ・ 特別企画2
濱田 昌彦(重松製作所, 元 陸上自衛隊)
「Toxicology for all～安全な社会を守るために,
海外から学ぶ～(仮題)」
- ・ 教育講演
中村 勝美(環境省, 元 陸上自衛隊)
「新たな脅威となっている化学物質(仮題)」
- ・ シンポジウム
「TOKYO2020に向けて(仮題)」
- ・ パネルディスカッション
「中毒診療におけるモニタリングと全身管理(仮題)」
「中毒情報センターの役割を考える」
「臨床検査と薬毒物分析(仮題)」
- ・ 急性中毒標準治療ワークショップ
- ・ 分析委員会ハンズオンセミナー, Toxicology for all
セミナー, クリニカルトキシコロジスト認定/更新
セミナーおよび認定試験, 共催セミナー
- ・ 委員会報告
- ・ 一般演題(口演, ポスター)
- ・ フォトコンテスト, 市民公開講座
- ・ 機器展示, 書籍販売, その他

演題募集期間

2018年1月16日(火)～3月20日(火)

フォトコンテスト応募期間

2018年2月7日(水)～6月15日(金)

日本毒性学会学術年会との同時開催

2018年7月18日(水)～20日(金)に同会場で,
第45回日本毒性学会学術年会が開催されます。そ
れぞれの会員は所属学会の参加登録のみで, 7月
18日～21日のすべての演題を聴講できます。

*日本毒性学会(JSOT)・日本中毒学会(JSCT) 連携合同企画

2018年7月18日(水)

- ・ JSOT・JSCT 合同シンポジウム
「コリン作動性の中枢・末梢神経毒性の基礎と臨床」
座長: 吉田 武美(JSOT)
福本 真理子(JSCT)

2018年7月20日(金)

- ・ JSOT・JSCT 連携記念式典・記念講演会
「急性中毒の標準治療はどうあるべきか」
演者: 杉田 学(JSCT)
座長: 菅野 純(JSOT)
福本 真理子(JSCT)
- ・ JSOT・JSCT 合同シンポジウム
「ドーピングの中毒学・毒性学」
座長: 北嶋 聡(JSOT)
杉田 学(JSCT)

第40回日本中毒学会総会・学術集会事務局

事務局長
大西 光雄
(大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

副事務局長
波多野 弥生
(公益財団法人日本中毒情報センター 大阪中毒110番)

学術集会に関するお問い合わせ先

第40回日本中毒学会総会・学術集会 運営準備室
日本コンベンションサービス株式会社 内
担当: 大谷 有希子
松野木 勇樹
梅田 恭央
TEL: 06-6221-5933 FAX: 06-6221-5938
E-mail: 40jsct@convention.co.jp

第 45 回日本毒性学会学術年会と第 40 回日本中毒学会学術集会 の同時開催について

日本毒性学会会員各位・日本中毒学会会員各位

梅花の候、皆様におかれましてはご清勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2014年に「毒性学のさらなる発展を果たすために、また、両者の活動を通じて社会貢献を果たすために、共通及び相補的な学術活動について幅広く継続的な協力関係を構築する」ことを目的とした覚書を交わし、以来、相互に学術年会・学術集会において共同企画の開催を積み重ねてまいりましたが、この度、第45回日本毒性学会と第40回日本中毒学会を大阪国際会議場において、同時開催する運びとなりました。

両学会員はどちらかの参加証で両方の学会に参加して頂けます。
連携事業といたしまして、

- 7月18日 13:30～16:00 (JSOT 学術年会第1会場)
合同シンポジウム 脳毒性の現状と課題
- 7月20日 9:20～10:20 (同第2会場)
日本中毒学会合同企画：両学会連携の経緯と今後の展望
経緯説明：菅野 純・福本真理子 (両学会・連携小委員会委員長)
挨拶と記念署名：JSOT 永沼 章・務台 衛
JSCT 須崎紳一郎・嶋津岳士 (両学会・理事長・年会長)
記念講演：「急性中毒の標準治療はどうあるべきか (45分)」
杉田 学 (日本中毒学会理事/順天堂大学医学部附属練馬病院)
- 7月20日 10:30～12:00 (JSCT 学術集会第1会場)
日本中毒学会合同シンポジウム：ドーピングの中毒学・毒性学

を企画いたしました。

また、両学会の参加者の皆様に相互のプログラムを確認いただけるように、学術年会・学術集会 HP において、互いのプログラムにアクセスできるよう準備する予定です。

皆様ふるって、日本中毒学会の方にもご参加いただき、交流を深めていただけると有難く存じます。

日本毒性学会・連携小委員会
日本中毒学会・連携委員会

社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠（委任状） 回答システムへのご登録のお願い

一般社団法人 日本毒性学会
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように「社員総会」を、以下の要領で学術年会期間中に開催いたします。ご承知のとおり、本学会は2014年（平成26年）5月1日に一般社団法人となり、重要な案件は社員総会で決定されます。社員（一般会員及び学生会員）各位におかれましては、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

※本年4月にメールにてお知らせ致しましたとおり、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、「電磁的総会出欠（委任状）回答システム」により、2018年6月20日（水）までにご提出下さい。提出方法は、下記、登録方法をご覧ください。

【電磁的総会出欠（委任状）回答システム 登録方法】

- 1) 下記 URL から、会員番号とパスワードを入力し、マイページにログインしてください。
<https://area31.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lftes8mjgct9/g7DahB/login.html>
- 2) マイページのトップに、電磁的総会出欠（委任状）回答ページへのナビメッセージが表示されています。
- 3) ナビメッセージをクリックすると、出欠回答入力ページへ遷移します。
- 4) 「出席する」または「出席しない」を選択してください。
- 5) 「出席しない」を選択した場合、委任状入力フォームが表示されます。必要事項を入力し、「送信」をクリックしてください。

記

2018年度 一般社団法人日本毒性学会 社員総会
日 時：2018年7月19日（木）午後1時30分～同3時30分
場 所：日本毒性学会学術年会 第1会場（大阪国際会議場）
議 案：1. 2017年度事業報告および収支決算
2. 2018年度事業計画および収支予算
3. その他

以上

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すこととなります。社員総会に欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、社員総会へのご参加または委任状の提出をお勧めくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2018年6月
一般社団法人日本毒性学会
理事長 永沼 章

トキシコロジー第3版（朝倉書店）の刊行について

日本毒性学会教育委員会
トキシコロジー第3版編集委員会

日本毒性学会教育委員会では、新版トキシコロジー（2009年刊，朝倉書店）の改訂のために編集委員会を2014年11月に立上げ、改訂作業を行ってきました。本年3月に出版いたしましたので、学会員の皆さまに概要を連絡します。

書籍名	トキシコロジー第3版
出版社	朝倉書店
出版時期	2018年3月5日
価 格	10,000円（税込10,800円）
目 次	
	1. 毒性学とは
	2. 毒性発現機序
	3. 動態・代謝
	4. 化学物質の有害作用，安全性評価・管理（案）
	5. 毒性試験法
	6. 標的臓器と毒性発現
	7. 環境毒性
	8. 動物実験代替法
	9. 毒性オミクス
	10. リスクアセスメント，リスクマネジメント
	11. 臨床中毒学
	12. 実験動物
	13. 統計学

改訂のポイント

毒性学の進展に対応し、各章の記述を見直しました。また、ナノマテリアル、光毒性、動物実験代替法等の新しい内容を加えました。

学会員特典

日本毒性学会の会員については、会員特別価格（9,500円，税・送料込）が適用されます。また、購入した会員に特典として電子版を提供いたします。

日本毒性学会のホームページの会員専用ページ（マイページ）にて申し込みを受け付けております。

以上

その他のお知らせ

フォーラム 2018： 衛生薬学・環境トキシコロジー

主催 日本薬学会 環境・衛生部会
後援 (社)日本毒性学会
期日 平成 30 年 9 月 10 日 (月)・11 日 (火)
会場 アルカス佐世保 (長崎県佐世保市)

内容

- ・特別講演「麻薬・危険ドラッグの分析法」
(長崎国際大学 中島 憲一郎 学長)
- ・教育講演「長崎県に多い神経難病 HTLV-1 関連脊髄症について」
(長崎国際大学 中村 龍文 教授)
- ・招待講演「水俣病とメチル水銀」
(東北大学 永沼 章 名誉教授)
- ・フォーラム
 - I 生殖毒性の最前線
 - II 学校薬剤師のための学校環境衛生試験法
 - III 最近注目されている感染症に関する話題
 - IV 九州地域に関わる有害物質汚染
- ・一般演題 (口頭発表とポスター 合計 約 200 題)

発表登録締切 平成 30 年 6 月 8 日
要旨登録締切 平成 30 年 6 月 15 日
事前参加登録締切 平成 30 年 7 月 20 日

参加費 (事前)

一般会員・非会員	8000 円
大学院生	4000 円
学部学生	無料

参加費 (当日)

一般会員・非会員	9000 円
大学院生	5000 円
学部学生	無料

懇親会費 (事前)

一般会員・非会員	8000 円
大学院生・学部学生	4000 円

懇親会費 (当日)

一般会員・非会員	9000 円
大学院生・学部学生	5000 円

※参加・演題申込およびプログラムの詳細については、
 日本薬学会 環境・衛生部会ホームページ (<http://www.senkyo.co.jp/eiseiforum2018/>) をご参照下さい。

問合せ先

〒 859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7
 長崎国際大学 薬学部 衛生化学研究室内
 「フォーラム 2018：衛生薬学・環境トキシコロジー」事務局
 E-mail: forum2018@niu.ac.jp
 TEL：(0956) 20-5696 FAX：(0956) 20-5622

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

本年1月に Journal of Toxicological Sciences (JTS) がオンライン公開へ移行(冊子体の原則廃止)したことに伴い、「J. Toxicol. Sci. 投稿規程」が改定されました。改定された投稿規程については、オンライン化に伴う JTS ホームページの改修に併せて6月1日に公開し、同日より適用される予定です。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人入会規定
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam.Toxicol.Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人 日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針

臨床検査機器・試薬・システム展示会
Japanese Association of Clinical Laboratory Systems

JACLAS EXPO 2018



会期

10月

11日(木) 13:00~17:30

12日(金) 9:30~17:30

13日(土) 9:30~14:00

会場

神戸国際展示場

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-11-1

主催

一般社団法人 日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会

当日の入場手続きが不要になる

事前参加登録システム

期日までに事前参加登録いただいた方には、ネームカードを送付いたします。
当日ネームカードをご持参いただければ、受付に並ぶことなく入場できます。
※事前登録いただいても、ネームカードを忘れた場合は、記名台で登録証を記入していただく必要があります。

<https://jaclas-expo.jp/2018/form.cgi>



事前参加
登録
受付中!

ジャクラス事前登録

検索

日本臨床検査自動化学会 第50回大会

テーマ：臨床検査自動化50年 -あらたな飛躍へ

会期：2018年10月11日(木)~13日(土)

会場：神戸国際会議場 神戸国際展示場

大会長：通山 薫

(川崎医科大学検査診断学 同附属病院中央検査部 川崎医療福祉大学臨床検査学科)

主催：一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

JACLAS EXPO 2018事務局 (一般社団法人 日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会内)

電話：03-3830-0920 / FAX：03-3830-0921 E-mail：info@jaclas.or.jp

Japanese Association of Clinical Laboratory Systems JACLAS

<http://jaclas.or.jp>

マイクロバイオーム研究の 受託業務



マイクロバイオームを持たない無菌動物、単離菌または複数の既知の菌株を定着させたノトバイオート動物や細菌叢を定着させた動物を一定期間飼育環境を維持するためにはビニールアイソレータ(VI)を使用することが最適です。当社では長年の経験で得た無菌動物生産技術をもとにマイクロバイオームの研究支援を行ないます。

● 無菌動物

無菌マウスを常時生産しております。

MCH(ICR)[Gf]・C57BL/6N[Gf]
BALB/cA[Gf]・IqI[Gf]

● ノトバイオート作製

無菌マウスに単独あるいは複数の腸内細菌を移植します。必要に応じて定着を確認します。疾患モデルマウスの腸内細菌や、ヒト糞便の移植も可能です。また、お手持ちの遺伝子改変マウスを無菌化した後、特定の腸内細菌を移植し管理することも可能です。

● ノトバイオート化マウスを使った受託試験

シングルノトバイオートマウスや、ヒト糞便移植叢を移植したマウスを使った試験を受託致します。各種データ採取についても、お問合せください。実施場所は、川崎市または富士宮市の当社施設(実験室を併設)を使用します。

※ヒト糞便移植実験は、川崎施設を利用。

● 研究を支える動物管理技術

In Vivoマイクロバイオーム研究では、微生物学的制御が可能なビニールアイソレータ(VI)を使用します。これはヒトから動物への感染の防御とともに、移植された細菌からのヒトへの防御にもつながります。また、長期に亘る腸内細菌叢の維持が可能です。

オプション

- 糞便のT-RFLP解析による腸内細菌叢解析、菌叢比較解析、有機酸分析、腐敗産物分析、アンモニア分析、ph、微生物定量分析(リアルタイムPCR法)
- 移植細菌の定着確認(PCR)
- 血液生化学データ、病理組織作成、採材
- 薬物の経時的投与、定期糞便採取
- Tg、KOマウスの無菌化
- ヒト糞便移植
- 特殊飼料給餌試験

※移植細菌(叢)は研究者側にてご用意ください。

 **日本クリア株式会社**

<http://www.CLEA-Japan.com>

受注センター TEL.03-5704-7123 FAX.03-3792-2368

東京AD部 TEL.03-5704-7050 FAX.03-3792-2032
大阪AD部 TEL.06-4861-7101 FAX.06-4861-7108

仙台出張所 TEL.022-352-4417 FAX.022-352-4419
札幌出張所 TEL.011-631-2725 FAX.011-644-9209

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

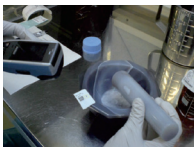
グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International（国際実験動物ケア評価認証協会）認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応（CDISC SEND）
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



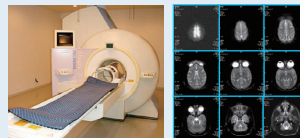
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- Erenna Immunoassay System(EMD Millipore)



- MRI



Siemens Allegra 3.0T

カニクイザル頭部 (T2WI)

- qPCR



ABI 7500 Fast

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140





The hepatic stem cell line

HepaRG®・初代肝細胞



- HepaRG®凍結バイアル
- HepaRG®増殖培養キット
- HepaRG®プレート播種タイプ
- CYP3A4G/7R HepaRG®

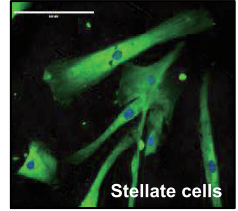
- CYP3A4の発現を緑色蛍光で検出可能

鳥取大学 (WO2014061829A1; 薬物代謝酵素誘導および細胞両性の評価方法、ならびにそのためのベクターおよび細胞) が開発

- ヒト凍結肝細胞
- 接着 / 非接着 / スフェロイド培養用
- アニマル凍結肝細胞
- 動物種: マウス、ラット、イヌ、サル 等

NEW

- ヒト凍結非実質肝細胞、星細胞
- ヒト非凍結肝細胞 (プレート播種タイプ)



受託試験

- 薬物相互作用評価試験

- 肝毒性評価試験
- 腎毒性評価試験



お問い合わせは・・・



株式会社 ケーエーシー
KAC <http://www.kacnet.co.jp/>

試薬営業グループ

TEL:03-5807-7162

e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

研究用試薬

SLCの実験動物



マウス

●アウトブリード

- Slc: ddY
- IVCS
- Slc: ICR
- インブリード
- DBA/1JmsSlc(コラーゲン誘導関節炎)
- BALB/cCrSlc
- C57BL/6NCrSlc・C57BL/6JmsSlc
- C3H/HeSlc
- DBA/2CrSlc
- NZW/NSlC
- A/JmsSlc
- AKR/NSlC
- NC/NgaSlc(薬物・アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)
- CBA/NSlC
- C3H/HeNSlC
- C3H/HeJYokSlc
- B10コンジュニック
- 129×1/SvJmsSlc
- C57BL/10SnSlc
- B10.A/SgSnSlc・B10.BR/SgSnSlc
- B10.D2/nSnSlc・B10.MBR/Slc
- B10.QBR/SxSlc・B10.S/SgSlc

●ハイブリッド

- B6D2F1/Slc(Slc:BDF1)
- CB6F1/Slc(Slc:CBF1)
- CD2F1/Slc(Slc:CDF1)
- B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)
- ヌードマウス(ミュータント系)
- BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1nu*)
- KSN/Slc(*Foxn1nu*)

●疾患モデル

- BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)
- C3H/HeJmsSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas*^{gld})
- C3H/HeJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas*^{lpr})
- C57BL/6JSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas*^{gld})
- C57BL/6JmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas*^{lpr})
- MRL/MpJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas*^{lpr})
- NZB/NSlC(自己免疫疾患)

- * NZBWF1/Slc(自己免疫疾患)
- CTS/Shi(免疫不全・白内障)
- * WBB6F1/Kiit-Kiit^{tr}/Kiit^{tr}/Slc(肥満細胞欠損貧血-Kiit^{tr}/Kiit^{tr})
- * WBB6F1/Kiit-Kiit^{tr}/Kiit^{tr}/Slc(肥満細胞欠損貧血-Kiit^{tr}/Kiit^{tr})
- NC/Nga(皮膚炎)
- ☆ Hos:HR-1(ヘアレスマウス)
- ☆ HRM2(メラニン保有ヘアレスマウス)
- SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫・SAM系対照動物)
- SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)
- SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)
- SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)
- SAMP10/TaSlc(脳萎縮を伴う学習・記憶障害)
- AKITA/Slc(糖尿病)
- ☆ TSOD(2型糖尿病)
- C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lepr*^{ob})
- ☆ C57BLKS/Jlar-*Lepr*^{ob}+*Lepr*^{ob}(肥満・2型糖尿病-*Lepr*^{ob})
- ☆ NSY/Hos(2型糖尿病)
- C57BL/6JHamSlc-A^{+/+}(肥満)
- HIGA/NscSlc(IgA腎症)
- C.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- B6.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- A.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- AK.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- (NZW × BXSB)/F1/Slc(血小板減少性紫斑病)
- C57BL/6HamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)

ラット

- アウトブリード
- Slc: SD
- Slc: Wistar
- Slc: Wistar/ST
- Hos: Donryu
- ☆ lar: Wistar(Wistar-Imamichi)
- ☆ lar: Long-Evans
- ☆ lar:Copenhagen(前立腺腫瘍継代)
- インブリード
- F344/NSlC
- WKAH/HkmSlc
- BN/SsNSlC
- DA/Slc(薬物誘導性閉塞)

- LEW/SsNSlC(薬物誘導性閉塞)
- ACI/NSlC
- PVG/SeaSlc

●疾患モデル

- SHR/Izm(高血圧)
- SHRSP/Izm(脳卒中)
- WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)
- SHRSP/Dmcr(NASHモデル)
- DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)
- DIR/EisSlc(食塩抵抗性)
- DahlS.Z-*Lepr*^{ob}/Slc
- KDP(1型糖尿病-*Cblb*)
- GK/Slc(2型糖尿病)
- WBN/KobSlc(高血糖好発)
- WBN/KobSlc-*fa/fa*(高血糖好発-*Lepr*^{ob})
- SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lepr*^{ob})
- SHRSP/IDmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lepr*^{ob})
- Slc:Zucker-*fa/fa*(肥満・*Lepr*^{ob})
- ☆ Hos:ZFDM-*Lepr*^{ob}(糖尿・肥満)
- HWY/Slc(ヘアレスラット)
- F344/NSlC-*Apc*^{em150v}(大腸癌誘発)
- EHBR/EisSlc(高ビリルビン尿症)
- Gunn/Slc-*jjj*(高ビリルビン血症)
- * NAR/Slc(無アルブミン症)
- SDR(矮小体症ラット)
- Slc:WsRC-Ws/Ws(肥満細胞欠損貧血-c-kit異常-Kiit^{tr})
- * DA/Slc-*bg/bg*(NK細胞機能低下)
- * OM/NSlC(栄養関係・腎障害)
- * FH/HamSlc(脳内セロトニン系の機能不全)

モルモット/ウサギ/ハムスター/スナネズミ

- アウトブリード モルモット
- Slc: Hartley
- Hos: Weiser-Maples(メラニン保有)
- インブリード モルモット
- * Strain2/Slc
- * Strain13/Slc
- アウトブリードウサギ
- Slc: JW/CSK
- Slc: NZW
- * Slc: JWF-NIBS(ヘアレス)

●ハムスター

- Slc: Syrian
- * J2N-K(心筋症モデル)
- * J2N-n(J2N-Kのコントロール)

●スナネズミ

- MON/Jms/GbsSlc

無菌動物

- F344/NSlC[GF]

遺伝子改変動物

- マウス
- C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)
- C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpt delta*)
- ヌードマウス
- C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)
- ラット
- SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)
- F344/NSlC-Tg(*gpt delta*)
- Slc:WistarHannover/Rcc-Tg(*gpt delta*)

conventional動物

- ビゲル犬
- ☆国内繁殖生産(一財)動物繁殖研究所)
- カニクイザル
- ☆ベトナム繁殖生産ザル(VANNY)
- ミニブタ
- ☆国内繁殖生産
- (一財)日生研-NPO法人医用ミニブタ研究所)
- マイクロミニブタ
- ☆国内繁殖生産(富士マイクラ)
- フレット
- 国内繁殖生産(中伊豆支所)

*印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。



日本エス エル シー株式会社
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8
TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)
関西エリア (053)486-3157(代)
九州エリア (0942)41-1656(代)

一般社団法人 日本毒性学会

[名誉会員]

石川 栄世	今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣
池田 正之	加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄
井村 伸正	佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人
榎本 眞	小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫
黒川 雄二	鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄
長尾 拓	福島 昭治	津田 修治	吉田 武美
堀井 郁夫			

[功労会員]

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	田中 悟	大沢 基保	今井 清
降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫
暮部 勝	野村 護	牧 栄二	大野 泰雄
山添 康	上野 光一	三森 国敏	佐神 文郎
遠山 千春			

[賛助会員]

旭化成ファーマ(株)	味の素製薬(株)		
あすか製薬(株)	アステラス製薬(株)		
(株)イナリサーチ	エーザイ(株)		
(株)LSIメディエンス	大塚製薬(株)		
杏林製薬(株)	小野薬品工業(株)		
興和(株)	協和発酵キリン(株)		
塩野義製薬(株)	(株)三和化学研究所		
(公財)食品農薬医薬品安全性評価センター	昭和電工株式会社		
ゼリア新薬工業(株)	(株)新日本科学		
大正製薬(株)	第一三共(株)		
大鵬薬品工業(株)	大日本住友製薬(株)		
田辺三菱製薬(株)	武田薬品工業(株)		
中外製薬(株)	(一財)生物科学安全研究所		
(株)DIMS 医学研究所	帝人ファーマ(株)		
トーアエイヨー(株)	東レ(株)		
(一社)日本化学工業協会	日本新薬(株)		
ファイザー(株)	日本たばこ産業(株)		
Meiji Seika ファルマ(株)	(株)ボゾリサーチセンター		
ライオン(株)	持田製薬(株)		

(五十音順)

[役員] (2016 ~ 2017 年度)

理事長	永沼 幸章	石塚真由美	小川久美子
理事	天野 幸紀	小野寺博志	鍛冶 利幸
	小椋 康光	鈴木 睦	高崎 渉
	佐藤 雅彦	広瀬 明彦	福井 英夫
	中村 和市	務台 衛	山田 久陽
	眞鍋 淳	吉田 緑	和久井 信
	横井 毅		
監事	落合 敏秋	姫野誠一郎	

[学術年会長]

第45回 (2018年) 務台 衛
 第46回 (2019年) 姫野誠一郎
 第47回 (2020年) 広瀬 明彦

[委員会] (2016 ~ 2017 年度)

- 総務委員会
 - 務台 衛 (委員長)
 - 鍛冶 利幸
 - 佐藤 雅彦
 - 広瀬 明彦
 - 菅野 純
 - 小川久美子
 - 山田 久陽
 - 横井 毅 (委員長)
 - 小川久美子
 - 中村 和市
 - 務台 衛 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 広瀬 明彦 (委員長)
 - 市原 学
 - 古川 賢
 - 中村 和市
 - 小川久美子
 - 鍛冶 利幸 (委員長)
 - 鍛冶 利幸 (委員長)
 - 永沼 章 (委員長)
 - 永沼 章 (委員長)
 - 鰐淵 英機 (委員長)
 - (副委員長以下非公開)
 - 広瀬 明彦 (委員長)
 - 鈴木 睦
 - 鈴木 睦 (委員長)
 - 五十嵐勝秀
 - 姫野誠一郎
 - 高崎 渉 (委員長)
 - 小野寺博志 (副委員長)
 - 朝倉 省二
 - 古川 賢
 - 古川 賢 (委員長)
 - (副委員長以下非公開)
 - 佐藤 雅彦 (委員長)
 - 吉田 武美 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 佐藤 雅彦 (委員長)
 - 斎藤 幸一 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 佐藤 雅彦 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 熊谷 嘉人 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 天野 幸紀 (委員長)
 - 石塚真由美
 - 高橋 祐次
 - 久田 茂 (委員長)
 - 小椋 康光 (副委員長)
 - 伊藤 志保
- ◆ 連携小委員会
- ◆ 評議員選考小委員会
- ◆ 名誉会員および功労会員選考小委員会
- ◆ 指針値検討小委員会
- 財務委員会
- 編集委員会
 - ◆ JTS 編集委員会
 - ◆ FTS 編集委員会
 - ◆ Executive Editor 小委員会
 - ◆ 田邊賞選考小委員会
- 教育委員会
 - ◆ 生涯教育小委員会
 - ◆ 基礎講習会小委員会
 - ◆ 認定試験小委員会
- 学術広報委員会
 - ◆ 学会賞等選考小委員会
 - ◆ 特別賞等選考小委員会
 - ◆ 技術賞選考小委員会
 - ◆ 望月喜多司記念賞選考小委員会
 - ◆ 日化協 LRI 賞選考小委員会
 - ◆ 学術小委員会
 - ◆ 広報小委員会

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

★その他関連の委員会

- IUTOX President 菅野 純
- ASIATOX 担当 熊谷 嘉人

2018年 6月1日 印刷

2018年 6月1日 発行

発行人 永沼 章

編集人 鍛冶 利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsotq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

http://www.jsot.jp

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161